



小倉南交通安全だより



小倉南警察署
交通課交通総務係
令和6年1月11日

～交通事故発生状況(小倉南署管内)～

【1】交通事故発生状況 令和5年 確定値

	発生件数	死者数	傷者数
福岡県下 (前年対比)	20,173件 (+305件)	103人 (+28人)	25,699人 (+414人)
小倉南警察署 (前年対比)	789件 (-67)	3人 (-2人)	1,024人 (-85人)

【2】死亡事故概要

	発生日時	場所	道路種別	事故形態等	備考
①	1月10日(火) 18:19	北方3-37	市道	軽四乗用車×歩行者 衝突	死亡 75歳女性
②	6月24日(土) 3:10	田原3-2	市道	自転車単独	死亡 51歳男性
③	7月22日(土) 11:35	志井1925	市道	自動車単独	死亡 79歳男性

【3】高齢者関連交通事故発生状況

	発生件数	死者数	傷者数	備考
福岡県下 (前年対比)	6,835件 (+287件)	62人 (+18人)	3,464人 (-34人)	死者数の60.2% が高齢者
小倉南警察署 (前年対比)	270件 (-55件)	2人 (-3人)	152人 (-23人)	死者数の66.7%が 高齢者

【4】交差点(交差点付近を含む)事故発生状況

	発生件数	死者数	傷者数	備考
福岡県下 (前年対比)	11,032件 (+172)	66人 (+30人)	13,715人 (+213人)	発生の54.7%が交 差点付近
小倉南警察署 (前年対比)	426件 (-41件)	3人 (+3人)	534人 (-63人)	発生の54.0%が交 差点付近

【5】飲酒運転事故発生状況

	発生件数	死者数	傷者数
福岡県下 (前年対比)	87件 (-4件)	6人 (+3人)	113人 (-11人)
小倉南警察署 (前年対比)	4件 (+1人)	0人 (±0人)	4人 (+1人)

【6】自転車事故発生状況

	発生件数	死者数	傷者数
福岡県下 (前年対比)	3,203件 (-18件)	12人 (+7人)	3,112人 (-20人)
小倉南警察署 (前年対比)	107件 (+5件)	1人 (±0人)	103人 (+2)

交通事故の傾向

○福岡県下の交通事故状況

- ・発生件数、死者数、傷者数、全てが増加しました。
- ・高齢者関連事故は発生件数、死者数ともに増加しました。
- ・飲酒事故関連事故、自転車関連事故ともに、発生件数、傷者数は減少していますが、死者数は増加しました。
- ・死者数の6割以上が高齢者となっています。

○小倉南署管内の交通事故状況

- ・発生件数、死者数、傷者数全てが減少しました。
- ・高齢者関連事故、自転車関連事故ともに減少傾向にありますが、飲酒関連事故は、増加傾向にあります。
- ・飲酒事故関連事故、自転車関連事故ともに、発生件数、傷者数ともに増加しました。

今年に入って、交通死亡事故が激増しています。
交通死亡事故抑止緊急対策が実施されています。
皆さん！安全運転で交通事故のない街づくを目指しましょう！！

守ろう、大切な命を！ 「よく見る、早く見つける！」

- ◆明るい服装や反射材を着用しましょう！
自分の存在をアピールしましょう！
- ◆横断歩道を渡る時は、
「止まって、見て、合図を出して、待って」渡りましょう！
自分で安全を確かめましょう！
- ◆横断歩道手前で減速し、
歩行者がいるときは、
必ず、一時停止しましょう！
- ◆早めのライト点灯・ハイビームの活用して、
危険を早期に発見しましょう！



飲酒運転撲滅！

昨日のお酒、残っていませんか？

○深酒による二日酔い状態等で運転をすると
飲酒運転になります！

- ・体調やお酒の酒類によってお酒の消化時間は違います。
- ・アルコールの分解には時間がかかります。
- ・翌日、運転をする人は要注意！

アルコールの正しい知識を持ちましょう！

アルコールの分解に必要な時間の目安 いすれかを飲めば

ビールであれば 1杯 焼酎であれば 1杯 チョーハイであれば 1杯 ワインであれば 1杯

500mL 水割り(5:5) 1杯 350mL 200mL 1杯

4時間以上 (女性は5時間以上)

※体調・体質・アルコール濃度によっては、さらに時間が掛かります。
「どれだけお酒を飲んでも、一晩寝れば大丈夫」は大間違いです。
1杯飲んだら約4時間(女性は約5時間)は分解されません。

飲酒運転は、
しない！させない！許さない！
そして見逃さない！

全ての自転車利用者のヘルメット着用が努力義務に！

道路交通法の改正に伴い、
令和5年4月から、全ての自転車利用者に自転車ヘルメット着用の努力義務になりました。

- ◆自転車乗車時には、頭部を保護し、交通事故や転倒による被害を軽減するため、ヘルメットを着用しましょう！
- ◆学校・企業で「自転車ヘルメット着用推進」に取組みませんか！

家庭、地域、企業から自転車ヘルメットを着用して、安全で、楽しい自転車ライフを！！

ヘルメットを被って、
自分を守ろう！

